

Radio On The Street
西谷文和

2025.11.25
第27号

路上のラジオ

ファンクラブニュース

発行責任者：西谷文和

連絡先：〒564-0041 大阪府吹田市泉町1-22-33

TEL 06-6170-4757

メール otayori@radiostreet.net

このニュースは募金いただいた方、講演会に参加された方に郵送しています。今後も年に4回程度発行します。

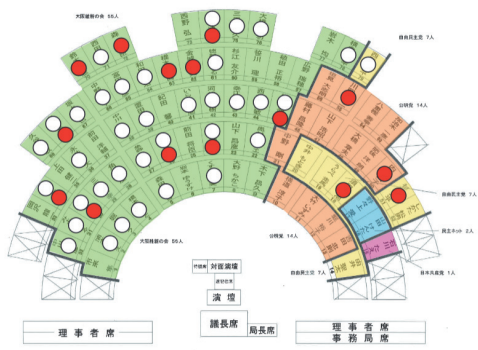
●ラジオの聞き方

スマホやパソコンで「路上のラジオ」と検索してください。YouTubeで聞けます。チャンネル登録していただきますと、毎回お知らせが来るので便利です。

1 人区及び無投票当選者数

(2023 年改選当時)

大阪府議会議席図 (案)



定数削減で優位に立つ維新

定数削減は維新の成功体験

まずはこの図をご覧ください。これは野々上愛大阪府議会議員からいただいた大阪府議会の勢力図だ。定数79のうち緑の維新が55議席を占めている。(占有率69%)

なぜこんな事態になったのか？

維新が「身を切る改革」と称して府議会の定数を2015年に109↓88へ、23年には88↓79に削減させた。この結果1人区が36に激増、複数区でも例えば維新が2議席を占める豊中市や枚方市で

自維連立政権の定数削減は危険なワナ
「身を切る改革」に騙されてはいけない

1人区でほぼ全勝

は定数を4に据え置き、同規模人口で比較的立民と共産が強い吹田市と高槻市では定数を4↓3に削減した。大阪での定数削減は身を切る改革どころか、対立する政党を落選させて比較優位を取るための「身を肥やす」改革だったわけだ。

図の白丸が1人区で当選した府議。維新は全国的には支持率を激減させているが、大阪だけは強固な組織を持っているので1人区はほぼ総取り。36ある内の35議席を維新が取っている。そして赤丸が無投票で当選した府議。維新一人

勝ちの選挙が続いたので、維新以外の政党が戦意喪失、維新は無投票選挙区全てを取っている。つまり無投票1人区で7、無投票複数区(棲み分け)で4議席の合計11議席を難なく独占しているのだ。

無投票で「おいしいビジネス」

これは「選挙互助会の維新議員」にとってはかなりおいしい状況

態。選挙にカネを使わずとも、4年の任期を得て、年間約1200万円の議員報酬をゲットできる。彼らの多くは「維新政治塾」に応募し「議員という就職活動」に勝ち抜いた候補者として出馬。多くが若くて弁舌さわやか、「イメージだけの刷新感」に騙された有権者が投票してしまい、たくさん「橋下、吉村チルドレン」が生まれてしまったのだ。

ライバル蹴落とす比例の削減

記憶に新しいのは24年10月の総選挙。無駄遣い万博の実態が暴かれて、さらには兵庫県の斎藤知事問題が勃発。維新は支持率を大きく下げ、比例票は800万↓500万と300万票も減らす大敗を喫した。そんな中にあつても大阪だけは19の小選挙区全てを制覇。選挙結果を映し出すテレビの地図が「大阪だけ緑」(苦笑)になった。

つまり吉村は次の選挙で比例区を削減しても、小選挙区の「大阪



大阪19+京都1で20は取れる。
そして「身を切る改革」で支持率アップを狙う

松井を追及すべきだった

議会を独占したら何ができるか？ 具体例を1つ挙げておく。それは「松井一郎100条委員会事件」である。2017年3月、

19+京都1（前原）＝20は確保できる」と計算している。定数を削減しても大阪では勝てるので維新はそれほど傷つかない。逆に今や宿敵となった公明、かねてから「消えてほしい」と願っている共産・れいわは比例票頼みなので、確実にライバル政党の議席を減らせることができる。しかも「定数削減という身を切る改革を成し遂げた」と、得意の「やってる感」を誇示して支持率回復を狙う一石二鳥の作戦だ。

安倍政権を大きく揺るがせた森友問題はニワトリが先か卵が先か、と言われていた。つまり森友学園を認可した大阪府が主犯なのか、国有地を8億円値下げした近畿財務局が主犯なのか。結論から言えば主犯は大阪府の松井一郎である。当時の森友学園は幼稚園しか経営しておらず、小学校の土地は所有していなかった。財務状態も良好ではなく、大阪府私学審議会は「自分の土地を持つていない法人は認可しない」と、却下していた。それを無理やり松井知事が再度の審査会を開かせて認可させた。その結果、近畿財務局はあの土地を売らざるを得なくなり、「ゴミが溜まっていた」ことにして8億円を値引きしたのだ。これは当然、主犯の松井一郎を100条委員会にかけて、「なぜ森友学園に限って認可させたのか」の真相を明らかにすべきだった。しかし維新と公明が反対し、松井は生き延びた。それも松井の方から「100条委員会」を言い出し、それを維新の議員団に否決させるという臭い田舎芝居を演出して自身の身を守ったのであった。もうお分かりだろう、今回の定数削減もサル芝居である。全国、特に大阪の有権者はいつまでも騙されてはダメだ。



軟弱地盤を固める工事はセメント屋が一番儲かる

カジノ工場の裏に麻生の思惑

万博閉幕直後の10月16日、私は夢洲を訪れた。パビリオンなどの解体工事が行われていたが、その何十倍もの規模でIR建設工事が本格化していた。予定地には数十本のクレーンが立ち並び、「竹中工務店JV」と書かれたカジノ工事のトラックが行き交っていた。工事現場には「麻生セメント」「住友大阪セメント」の看板が。「あー。これは維新が強いはずや」思わずつぶやいた。巨大なカジノ利権は維新が握っていて高市の後ろには麻生がいる。国土交通大臣を公明に取られていた麻生は、公明を外して維新を組み込み、両者はカジノ利権の蜜をすすろうと



堂々と「麻生セメント」の看板が立っている

予想もしなかった化学反応を

それは小選挙区でも野党が勝つこと。「ゆ党」ではない、本物の野党が。幸い公明党が連立を離脱し、穏健な中道政治を目指す自民党の一部も高市政権に見切りをつける可能性が高い。ずっと大阪の19議席を維新に独占させていたのはダメだ。市民運動と立憲野党、公明や自民の一部を含む広範な勢力が共闘して、今度こそ維新の牙城を崩すのだ。次の選挙は「予想もしなかった化学反応」が起きると信じている。いや起こさねばならない。（この記事含めニュースは全て敬称略）

藤田共同代表の第一秘書が経営する(株)リ・コネクトを訪問

11月3日午前11時、兵庫県西宮市の(株)リ・コネクトを訪問した。現場は閑静な住宅街で、(株)リ・コネクトとはあるマンションの一室にあった。

なぜわざわざ秘書の会社に発注したのか？

赤旗日曜版のスクープによれば、維新の藤田文武共同代表がこの会社で約2千万円のチラシ印刷、デザイン料を支払っていたとのこと。そしてなんとこの会社の代表取締役は藤田氏の第一公設秘書だというのだ。公設秘書は年間600万、800万円の税金が支払われる国家公務員である。だから秘書は原則として兼業禁止。例外的に兼業届を出せばいいのだが、その届け



藤田疑惑を追及する「赤旗砲」

によればこの秘書さんは(株)リ・コネクトから年間720万円の報酬を受け取った、とされている。えつ、数あるデザイン会社の中で、なんで自分の秘書の会社を選んだの？報道によれば約2千万円のデザイン料・印刷料の90%以上が藤田氏に支給された文書交通費などの公金。つまり公金を自分の秘書に発注し、秘書はそこから報酬を得ていた、つまり税金(秘書給与)と公金(チラシ代金)の二重取りということになる。

(株)リ・コネクトはどんな会社なのか？7年半にわたって藤田氏と秘書はどのような契約を交わし、どのような印刷物を作っていたのだろうか？赤旗のスクープが間違っているのだとすれば反論も聞いてみたい。だからスクープの翌日、西宮市へ行った。

集合ポストに紙が貼ってあるだけ

(株)リ・コネクトが入るマンションの玄関に集合ポストがあった。その504号室に社名が貼り付けてある。ペラーの紙がポストに貼ってあるだけ。「ペーパーカン



株式会社リ・コネクトは幽霊会社なのか？

パニー」なのかな？疑念が膨らむ。訪問しようと思い自動ドアの前に立てばドアが開いた。5階まで上がり部屋の前まで行き会社の呼び鈴を2度押す。返答がないので1階に戻って再度部屋番号を押す。祝日なので社員さんは出勤していないのかな？と思い、吹田まで引き返す。この日の夜インターネットテレビの「アークタイムズ」に出演し、(株)リ・コネクトはマンションの1室にあつて、お留守のようだった」と報告する。

西谷は逮捕されますよ

11月4日夕方、国会の代表質問終了後、この問題で緊急の記者会見があり藤田代表はいきなり私の名前を挙げて「西谷はオートロックのマンションに勝手に入つたみたいだ」「これは犯罪行為なので防犯カメラの映像を警察に通報。彼はおそらく逮捕されますよ」と述べた。一方的に犯人扱いされた

ので、これは黙ってはいられないと思い、すぐに質問状を送付した。回答期限を14日にしたので、回答が返って来ればまた路上のラジオで発表したい。ここでは正当な取材行為を脅迫という方法で弾圧しようとする藤田代表に対して、何点か反論しておきたい。

ドアが開いたので中に入ったのだ

1 そもそもこのマンションはオートロックではなかった。逆にオートロックなら私は中に入れない。昼間はロックを解除して夜間は掛けているのかもしれないが、少なくとも当日のこの時間、自動ドアは開いたのだ。なので中に入って確かめることができた。

見積り取るための会社訪問

2 私は(株)リ・コネクトを訪問したのであつて、個人宅ではない。藤田議員が政治活動でチラシを発注するように、私も番組の宣伝チラシを作っている。例えば(株)リ・コネクトに1万枚のチラシ印刷を頼む場合、見積もりはいくらになるのか、これは会社を訪問するしかない。

顧客をいちいち警察に通報するの？

3 藤田氏は会社訪問する顧客の姿をいちいち防犯カメラで確認

編集長より

母親の8年目の命日に、母の友人から手紙と一冊の本が送られて来ました。なんでも最近出版したその本は、生前の母との約束だったとのこと。慌ただしく過ぎていた日々の中で、ほっと心があたたかくなる出来事でした。それとともに、この地球上のどこを探しても居なくなってしまう母が、誰かの思いの中で生き続けていた

ことが確かな事実だと知ったとき、自分の命の価値もそうでありたいと思いました。死への畏れもやわらぐほどの幸福がそこにあるように見え、今を生きている中で、縁ある人との時間を少しでも大切にしていきたいと改めて思いました。

今年も、私が教えている大学に西谷文和さんをお呼びして、学生たちとラジオのドキュメンタリーを制作しました。12月8日、世界の平和を音楽で祈り続けたジョン・レノンが暗殺された日、そして太平洋戦争が開戦した日。この日のオンエアを想定して、学生たちが等身大で考える世界平和を60分の特番にしました。80年間戦争のない日本、その茶の間には、学生たちにとってしてみれば戦争映画のようにしか見えないであろう

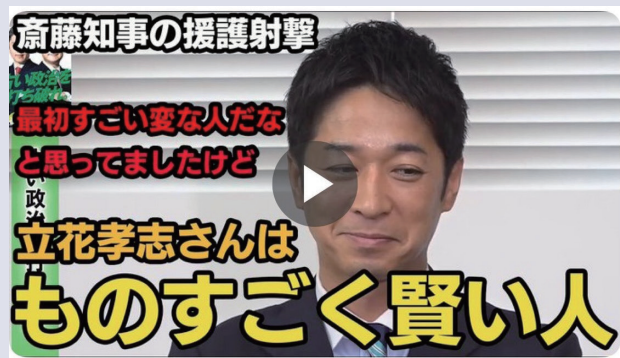
悲惨な映像が、毎日洪水のように流れて来ます。ジョンが音楽で訴えた「imagine」とは、どれだけ誰かの現実を自分に引き寄せられるのかということでもあるのだと私は思っています、そのことを学生たちと考え続けています。45年経った今もたくさんの方の心の中に生き続けているジョンの詩に、命の永遠を感じながら。(ディレクター・山本 索)

して警察に通報するのだろうか？
そもそも(株)リ・コネクトが例えば西宮の商店街に居を構えていて、そこを訪問するのならなんの問題もないはずだ。約2千万の公金を受注している会社が、マンションの1室にあり、それもたった一枚の紙切れを貼っただけのオフィスで仕事をされている方が私としては予想外だったし、呼び鈴を押さねば発注も相談もできないのだ。

半グレの脅迫？ 記者会見で名前をさらす

4 質問書にも書いてあるが、「警察が行くから覚悟しとけよ」という脅迫を、全国民が注視する記者会見の場で言い放つ行為自体が言論弾圧であり、疑惑追及者を萎縮させるものである。発言の撤回と謝罪を求めているが、さて回答は返ってくるのだろうか？

編集後記



藤田文武議員に質問書を郵送した3日後、「立花逮捕」の速報が出た。自死された竹内英明兵庫県議に対する名誉毀損で、逃亡の恐れや証拠隠滅の恐れがあるので身柄を拘束したわけだ。もう少し早ければ、とも思うがまずは兵庫県警の奮闘に感謝したい。立花容疑者のデマは名誉毀損どころか、「ターゲットに選んだ人を死に追いやる犬笛」である。実際、彼が自宅住所をさらした結果、本当にN国信者たちがカメラを持って突撃したり、頼んでもいない商品を送ったり、という「実際の被害」も続出していた。N国は裁判所が認めた通り「サリンをまかないオウム真理教みたいなもの」であり、その党首が立花孝志だったわけだ。

大事なのは「これで終了させない」こと。立花のデマを拡散したホリエモン、東国原英夫、須田慎一郎、高橋洋一、中田敦彦らの罪も追及されねばならない。そして今や私の天敵となった(笑)藤田文武議員であるが、なんと過去動画で「立花さんは賢い人だ」と誉めている。赤旗記者の名刺をさらす、会見で私を犯罪者扱いするなど「立花から学んだ」手法なのだろう。彼は「自宅まで来てピンポンピンポン鳴らして」と赤旗を攻撃したが、「ピンポンしたのは私」(笑)である。事実も調べず怒りに任せて放言する、このような人物が公党のトップとして相応しいのか？

路上のラジオでは引き続き、このような「維新政治の闇」を追及していきたい。応援よろしくお願いします。